

組織検体を用いて行う自費診療の「がん遺伝子パネル検査」

	自費のパネル検査	
検査種	PleSSision検査 現在、受託中断中	Plessision-Exome
	PleSSision	Exome
検査のタイミング	制限なし	制限なし
遺伝子数	160	20,000
採血	あり (3mL)	あり (3mL)
遺伝性腫瘍の可能性	検査可能**	検査可能**
TMB***	○	○
MSI****	○	○
融合遺伝子	別料金	別料金
金額	約59万円	約100万円
検査提出の準備	約1週間	約1週間
解析に要する日数	3週間	7～8週間

** 遺伝カウンセリングを受けていただくことをお勧めし、臨床遺伝専門医から詳細な説明をさせていただきます

*** 腫瘍内の遺伝子変異数：数値が高いほど変異の数が多いことを示します

**** マイクロサテライト不安定性：MSI-Highであれば免疫チェックポイント阻害薬の効果が期待できます

組織検体を用いて行う自費診療の「がん遺伝子パネル検査」

	自費のパネル検査	
検査種	PleSSision検査 現在、受託中断中	Plessision-Exome
	PleSSision	Exome
受診 ① ゲノム初診日	初診料：6,336円 再診料：1,628円	初診料：6,336円 再診料：1,628円
受診 ② ゲノム再診(検査)	588,500円	1,012,000円
受診 ③ ゲノム再診(結果)	再診料：1,628円	再診料：1,628円
パネル検査に 関連する遺伝 カウンセリング	初診料：5,940円 再診料：3,300円	初診料：5,940円 再診料：3,300円
品質検査の 所要日数	7～10日	7～10日

PleSSision-Exome検査（Exome）

がんの組織検体中のがん細胞由来の 2万遺伝子を検査

- ・慶應義塾大学病院 腫瘍センター ゲノム医療ユニット長の西原広史先生と三菱スペース・ソフトウェア社が中心となって共同開発され、2019年 3月に受託型臨床検査として導入された、がん関連遺伝子変異などを包括的に検出する遺伝子変異解析プログラムです。

- ・一度の検査で多くの遺伝子を調べることが可能な「がん遺伝子パネル検査」の一つです。

- ・本検査では、患者さんの「がん細胞の遺伝子」だけでなく、血液から採取した「正常な細胞の遺伝子」も同時に検査します。これらを比較することで、「がんの遺伝子異常」と「生まれつきの遺伝子」を区別することができる

「マッチドペア検査」の手法を導入した検査法です。つまり、患者さんのがんが遺伝性かどうかの判断をすることが可能な検査です。

- ・免疫チェックポイント阻害薬※¹の有効性に関連するとされている

- ①マイクロサテライト不安定性（MSI Microsatellite Instability）の判定および

- ②遺伝子変異量（TMB Tumor Mutational Burden）の算出が可能であるため、治療方針を決定する際に役立つ場合があります。

- ・検査のために、3mL × 1本 採血させていただきます。

- ・同意取得に採血を行い、約8週間後に結果をお伝えできます。